



ほく よ ちゅう がっ こう あと
北 予 中 学 校 跡
Site of Hokuyo Middle School

…好古は爵位ももらわず、しかも陸軍大将で退役したあとは自分の故郷の松山にもどり、私立の北予中学という無名の中学の校長をつとめた。黙々と六年間つとめ、東京の中学校長会議にも欠かさず出席したりした。従二位勲一等功二級陸軍大将というような極官にのぼった人間が田舎の私立中学の校長をつとめるというのは当時としては考えられぬことであった。

司馬遼太郎著『坂の上の雲』（文藝春秋刊）単行本：6巻より

明治33（1900）年4月開校の私立愛媛県北予中学校は、温泉郡川上村（現東温市）出身の城哲三^{じょうてつせう}が設立した私立北予英学校が前身となっている。その後、さまざまな変遷をたどり昭和24（1949）年に現在の愛媛県立松山北高等学校へと統合されていく。秋山好古^{あきやまよしふる}は歴代の校長にその名を連ね、彼の教育に対する熱意は子弟の育英へと注がれた。



大正初めごろの北予中学校
(出典：『ふるさとの思い出写真集』図書刊行会刊)
Hokuyo Middle School around the beginning of the Taisho era
(Source: "The Old Home Town Photo Album")

Ehime Prefecture Hokuyo Private Middle School, which opened in April 1900, was founded by Tetsuzo Jo of Onsen Gun Kawakami Mura (now Toon city). It was the successor of the Private Hokuyo English School. After going through several transformations, it merged with the current Ehime Prefecture Matsuyama Kita High School in 1949.

Yoshifuru Akiyama was once headmaster of the school, passing on his enthusiasm for learning to his young charges.